

1983～84年

年 次 報 告

昭和58～昭和59年度



横浜緑ロータリークラブ

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を ● ● ● ● ●

**Share Rotary—
Serve People**

1983～84 R.I.会長 ウィリアム E. スケルトン

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	6
出席委員会報告	6
職業分類委員会報告	10
親睦活動委員会報告	10
雑誌委員会報告	11
クラブ会報委員会報告	11
会員選考委員会報告	12
会員増強委員会報告	12
プログラム委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	17
広報委員会報告	17
S・A・A報告	18
社会奉仕委員会報告	18
青少年委員会報告	19
インターアクト委員会報告	20
ローターアクト委員会報告	21
職業奉仕委員会報告	21
国際奉仕委員会報告	22
世界社会奉仕委員会報告	23
ロータリー財団委員会報告	23
米山奨学委員会報告	25
会 計 報 告	26
横浜緑ロータリークラブ組織表	30
備 品 目 録	31
充填・未充填職業分類表	32

会 長 報 告

会 長 武 藤 松 一

今年度は緑区内の中山中学校を対象として、P T A役員の方々の協力を得て、会員全員で青少年非行防止の問題に取りくみましたが、早急な成果はむづかしく、学校とある程度の連絡がついたという程度で一年間は過ぎてしまいました。

その外では、各種奉仕活動以外のクラブの経費は極力節約すること。何事も強制的な事を避け、会員の自主性を尊重し、各自の自覚による積極的な活動を期待したこと。

又、プログラムは興味本位でなく、心の糧になるものに重点をおいたこと。例会の食事は粗食にして1回平均500円位にして、経費の節減をはかること。以上の様な事柄に重点をおき、例会を自己啓発、相互研鑽の場としてきましたが、会員皆様の努力で各部門の奉仕活動と共にある程度の成果をあげる事が出来たと思っております。

尚、中山特別代表のお蔭で“横浜たまロータリークラブ”と言う新クラブが結成され、クラブ拡大に寄与することが出来ました。

唯残念なことは、私の不徳の致すところから、クラブ内にゴタゴタを起し、一時クラブに不協和音を起して了った事については、申し訳なく心から反省しております。

幹 事 報 告

幹 事 渡 辺 武
副幹事 寺 崎 誠 三

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ
地 域 横浜区緑区 人 口 346,488人
世帯数 116,340 (6.30現在)
事 務 所 横浜市緑区中山町230 横浜銀行中山支店内
例 会 場 同 上
例 会 日 毎週水曜日 12:30～13:30
創 立 昭和45年2月28日 (スポンサークラブ 横浜港北RC)
昭和45年3月11日 RIの正式加盟承認
特別代表 山 崎 卯 一
昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同
(於 横浜市文化体育館)
昭和53年5月27日 横浜田園RC創立総会
於 三井銀行青葉台支店
(移籍会員4名)
昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ
認証状伝達式挙行(於 桐蔭学園)
昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ
創立総会(於 桐蔭学園)
付 記 所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。
昭和52年7月よりR.Iの地区変更により第259地区となりました。

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員 31名
シニア・アクティブ会員 14名

計 45名 (内 チャーターメンバー 8名)

(2) 年 令

36～40才	2名		
41～45才	5名	最高年令	78才
46～50才	5名	最低年令	38才
51～55才	11名	平 均	55才
56才以上	22名		

現会員で当クラブ会員としての在籍年数

1年未満	6名		
2～3年	6名		
4～6年	8名	平 均	約8年
7～9年	7名		
10年以上	18名		

2. 例会来客数

例 会 数 51回

来 客 数 ゲスト及ビジターの合計数 166名

(内 ゲスト 70名)

月	例 会 数	来 客 数	月	例 会 数	来 客 数
7	4	9	2	5	13
8	5	26	3	4	5
9	4	18	4	4	8
10	4	28	5	5	12
11	4	18	6	4	8
12	4	10			
1	4	11	計	51回	166名

—例会平均 3名強

〔入 会 者〕

井 上 章 和 君	58 年 7 月 13 日入会	貸スタジオ
横須賀 和 吉 君	59 年 2 月 15 日入会	地 方 銀 行
渡 辺 宏 未 君	59 年 6 月 13 日入会	建築請負業

〔退 会 者〕

山 田 雅 人 君	58 年 9 月 14 日退会	一身上の都合
加 藤 直 幸 君	58 年 11 月 30 日退会	転 勤
渡 辺 健 一 君	58 年 12 月 30 日退会	一身上の都合
阿久根 幹 成 君	59 年 3 月 26 日退会	移 転（新クラブへ）
井 上 章 和 君	59 年 3 月 26 日退会	移 転（新クラブへ）
岩 沢 幸 男 君	59 年 3 月 26 日退会	移 転（新クラブへ）
加 藤 雅 光 君	59 年 3 月 26 日退会	移 転（新クラブへ）
武 田 峯 生 君	59 年 3 月 26 日退会	移 転（新クラブへ）

〔歴代会長・幹事及会員数，出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	92.86 %	45 年 6 月迄
45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	98.58 %	
46～47	(秋 田 茂)	三 沢 君 夫	41 名	98.09 %	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40 名	94.29 %	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37 名	98.40 %	
49～50	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵	39 名	97.67 %	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42 名	97.38 %	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47 名	98.60 %	
52～53	三 沢 君 夫	岡 本 健	48 名	98.82 %	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47 名	98.57 %	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50 名	98.74 %	
55～56	岡 本 健	代々木 年 男	45 名	99.33 %	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50 名	99.18 %	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48 名	99.11 %	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50 名	97.86 %	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45 名	%	

〔チャーターメンバー〕 現会員 8 名

秋 田 茂	55. 2.20 死亡	足 立 英 一	46. 9. 1 退会
石 川 治 道	52. 6.30 退会	麻 生 和 衛	54.12.26 退会
岩 崎 董 正	57. 6.30 退会	藤 森 茂	47. 4. 5 退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	48. 1.31 退会
小 峰 政 博	48.10.20 退会 相模原南RCへ	細 辻 文 次	47. 6.28 退会
中 山 恒三郎		岩 本 正 三	
柴 田 清	48. 4. 4 退会	松 田 三 郎	47. 6. 7 退会
鈴 木 憲 一	54. 9. 1 死去	三 橋 英 一	
土志田 昭 吉	54. 8.29 退会	名 倉 健 二	
岡 本 健		富 永 力	
志 田 宝	47. 1.29 退会	鵜 川 昇	
高 橋 正 文	50. 6.26 退会	吉 田 晴太郎	48. 5. 2 退会

クラブ奉仕担当理事報告

担当理事 戸 田 裕 也

会長のターゲット『青少年問題』を支援すべく、プログラム、出席、広報委員会に一段の努力をお願いした。

対外的に卓話を講演会に切り換え、学校・区役所を利用、時にはPTAの役員を例会場に招待して「青少年問題」に対するロータリアンの関心の深さをPRした。

会員増強には『質か量か』の問題で真剣に討議をし、将来に禍根を残さぬよう努めた。

新クラブ「たまロータリー」の誕生で5名の退会者を出し、これも拡大の為の不可避な現象と受けられる。

ロータリーの『奉仕の原動力』親睦活動は、減員にもかかわらず、より一層の団結を深めるに役立つ活動が行なわれた。

最近やゝルーズになりがちな出席についても、しっかりとした見直しがなされた。

情報委員会による炉辺会合は年間一回のみしか開催されなかったのは残念であるが、情報委員長の退会もありいたしかたなかったのではと思う。

本年一年は緑ロータリークラブのマンネリ化からの脱却の“激動の一年”であったが、これにより『雨降って地固まる』の一言に尽される成果があったことは、おめでたいことであった。

出席委員会報告

委員長 代々木 和 男

委員 岩 本 正 三

ロータリーの出席については、当クラブでは各会員が入会の際、深く認識ずみの問題であり、よく理解され実行されているものと思っていました。

しかし、全員が等しく永年にわたって初心を持続させ、実行することは大変にむずかしいものであるという事実に関惑致しました。

当初の計画に対する成績、思うにまかせず反省致しております。

1983～84(58～59) 年度

1983	1 例 会 日 付	2 会 員 総 数 (名譽会員) を 除 く	3 出 席 計 算 に 用 い た 会 員 数	4 出 席 又 は メ ー ク ・ ア ッ プ し た 会 員 数	5 百 分 率
7 月	6	5 0	4 8	4 8	1 0 0
	1 3	5 1	4 9	4 9	1 0 0
	2 0	5 1	4 9	4 5	9 3. 8 8
	2 7	5 1	4 9	4 8	9 7. 9 5
				合 計	3 9 1. 8 3
				平均百分率	9 7. 9 6
8 月	3	5 1	4 9	4 7	9 5. 9 2
	1 0	5 1	4 9	4 8	9 7. 9 0
	1 7	5 1	4 9	4 7	9 5. 9 2
	2 4	5 1	4 9	4 9	1 0 0
	3 1	5 1	4 9	4 8	9 7. 9 0
				合 計	4 8 7. 7 6
9 月	7	5 1	4 9	4 8	9 7. 9 6
	1 4	5 1	4 9	4 8	9 7. 9 6
	2 1	5 0	4 7	4 6	9 7. 8 7
	2 8	5 0	4 7	4 7	1 0 0
				合 計	3 9 3. 7 9
				平均百分率	9 8. 4 5
1 0 月	5	5 0	4 7	4 7	1 0 0
	1 2	5 0	4 7	4 7	1 0 0
	1 9	5 0	4 8	4 6	9 5. 8 3
	2 6	5 0	4 8	4 7	9 7. 9 2
				合 計	3 9 3. 7 5
				平均百分率	9 8. 4 4
1 1 月	2	5 0	4 9	4 7	9 5. 9 2
	9	5 0	4 9	4 8	9 7. 9 6
	1 6	5 0	4 9	4 7	9 5. 9 2
	2 3	休			
	3 0	5 0	4 9	4 6	9 3. 8 8
				合 計	3 8 3. 7 1
1 2 月				平均百分率	9 5. 9 3
	7	4 9	4 5	4 5	1 0 0
	1 4	4 9	4 5	4 3	9 5. 5 6
	2 1	4 9	4 5	4 5	1 0 0
	2 8	4 9	4 5	4 5	1 0 0
				合 計	3 9 5. 5 6
				平均百分率	9 8. 8 9

1984	1 例 会 日 付	2 会 員 総 数 (名譽会員) を 除 く	3 出席計算に用 いた 会 員 数	4 出席又はメー ク・アップし た 会 員 数	5 百 分 率
1 月	4	4 8	4 4	4 4	1 0 0
	1 1	4 8	4 3	4 3	1 0 0
	1 8	4 8	4 3	4 1	9 5. 3 5
	2 5	4 8	4 3	4 3	1 0 0
				合 計	3 9 5. 3 5
				平均百分率	9 8. 8 4
2 月	1	4 8	4 3	4 2	9 7. 6 7
	8	4 8	4 3	4 2	9 7. 6 7
	1 5	4 9	4 4	4 4	1 0 0
	2 2	4 9	4 4	4 3	9 7. 7 3
	2 9	4 9	4 4	4 4	1 0 0
				合 計	4 9 3. 0 7
3 月				平均百分率	9 8. 6 1
	7	4 9	4 4	4 1	9 3. 1 8
	1 4	4 9	4 4	4 1	9 3. 1 8
	2 1	4 9	4 4	4 2	9 5. 4 5
	2 8	4 4	3 9	3 9	1 0 0
				合 計	3 8 1. 8 1
4 月				平均百分率	9 5. 4 5
	4	4 4	4 0	3 9	9 7. 5 0
	1 1	4 4	4 0	3 9	9 7. 5 0
	1 8	4 4	4 0	3 9	9 7. 5 0
	2 5	4 4	3 9	3 8	9 7. 4 4
				合 計	3 8 9. 9 4
5 月				平均百分率	9 7. 4 9
	2	4 4	3 9	3 7	9 4. 6 7
	9	4 4	3 9	3 7	9 4. 6 7
	1 6	4 4	3 9	3 8	9 7. 4 4
	2 3	4 4	3 9	3 9	1 0 0
	3 0	4 4	3 9	3 9	1 0 0
6 月				合 計	4 8 6. 7 8
				平均百分率	9 7. 3 6
	6	4 4	3 9	3 9	1 0 0
	1 3	4 5	4 0	3 9	9 7. 5 0
	2 0	4 5	4 0	4 0	1 0 0
	2 7	4 5	4 0	4 0	1 0 0
				合 計	3 9 7. 5 0
				平均百分率	9 9. 3 8

◎ 年平均 97.86 %

本年度個人100%出席者並びに連続100%の会員は下記の通りです。

○…本年度 100%

◎…ホームクラブ 100%

数字は連続年数：()内の数字は通算年数を表わす。

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
赤 柄	6	○	7	中 村	4	○	5
遠 藤	3	○	4	大 島	○	○	1
古 谷	8	○	9	岡 本	8	○	9
飯 塚	○	○	1	城 田	2	○	3
岩 岡	8	○	9	田 沼	7	○	8
加 藤(勇)	2	○	3	寺 崎	2	○	3
加 藤(貞)	1	○	2	戸 田	11	○	12
河 原	1	○	2	富 永	6	○	7
小 林(勲)		○	1	豊 田	3	○	4
小 林(安)				内 野	7	○	8
近 藤	○	○	1	鵜 川	13	○	14
三 沢	9	○	10	渡 辺(武)	5	◎	6
森	4	○	5	藪 島	3	○	4
武 藤	8	○	9	山 下	10	○	11
長 瀬		○	1	横 井	○	○	1
名 倉		○	1	代々木	10	○	11
中 林	10	○	11	横 須 賀	2/15入会	入会以来○	
中 畑	2	○	3	渡 辺(宏)	6/13入会	” ○	

職業分類委員会報告

委員長 矢島 誠 治

副委員長 (山 田 雅 人(2))

委 員 (阿久根 幹 成(3))

- (1) 本年度も地区ガバナーの方針に基づき、会員増強しやすい職業分類表を作成し、全会員に配布した。
- (2) 当地域における職業分類調査を行い、分類表を作成し、全会員に配布した。しかし、多くの成果はなかった。

親睦活動委員会報告

委員長 田 沼 文 衛 副委員長 加 藤 勇 夫

委 員 粟 島 優 岩 岡 正 (井 上 章 和)

(加 藤 直 幸) 小 林 安 雄 近 藤 裕 義

三 橋 英 一 森 善 助 長 瀬 正 作

中 林 清 (武 田 峯 生) 藪 島 五 郎

横 井 好 明 横 須 賀 和 吉 渡 辺 宏 未

ロータリーの奉仕は、まず親睦活動からの認識に立ち、期間中第5週の例会日を夜間例会に当て、会員の親睦を深めた。又、秋・春の二回会員・家族共々レクリエーション等下記の通り実施した。

- 1) 8月31日(水) 地元中山駅前、肉料理“勝平”にて夜間例会を開催した。
- 2) 9月25日(日) 会員・家族の秋のレクリエーションとして、横浜市内の名所・旧蹟の見学・観光を行った。概要次の通り。

午前、中山駅北口発大型専用バスにより、三溪園、市電保存館の見学、中華街料亭にて昼食（中国料理満喫）。

午後、開港資料館、山下公園、遊覧船による横浜港内の遊覧を行った。小雨の空模様であったので港の見える丘公園の見学を中止し、夕刻、出発場所中山駅北口広場着、無事散開した。

- 3) 11月13日(日) 緑区役所前広場にて、社会奉仕委員会と協力して、チャリティーバザーを行った。
- 4) 11月30日(水) 夜間例会予定日に、偶々姉妹クラブである韓国大邱松林RC会員・家族の当クラブ来訪を記念して、国際奉仕委員会と合同主催による歓迎祝賀会と、当クラブ会員・家族懇親会

を兼ねて、会場 新宿三井ビル（54F 三井クラブ）において盛大に行った。（本年はこの会を行ったので、例年のクリスマス家族会は割愛した）

- 5) 2月29日(水) 横浜駅西口ホテルリッチ横浜会館にて夜間例会を開催した。
- 6) 4月14日(土) 会員・家族春のレクリエーション観劇の会を、日本橋浜町明治座において、市川猿之助歌舞伎公演を観賞し、同所において夕食会を催した。
- 7) 5月30日(水) 新横浜駅前フジビューホテルにおいて、夜間例会を開催した。
- 8) 6月20日(水) 箱根湯本天成園において、今期の期末懇親会を開催した。

雑誌委員会報告

委員長 豊 田 洋

委員 栗 嶋 優

- 1. “ロータリーの友”を当クラブでは会員に渡すのを1週遅らせて配布していたが、今期は元に戻して月頭に配布し、会員各位が自主的に“ロータリーの友”を読む事を推進した。
- 2. 雑誌月間に例会で『青少年問題と雑誌』というテーマで各界の意見をお話し頂き、大いに関心を高めた。

クラブ会報委員会報告

委員長 中 村 彰 広

副委員長 森 善 助

委員 大 島 匡 佐 中 畑 竜 二

豊 田 洋 飯 塚 金次郎

- 1. 例会の重要事項及び各委員会の活動状況報告やロータリーの情報を掲載し、速かに会員に伝えました。
- 2. 表紙デザインを変え、記録性を重要視し会報を作りました。
- 3. 各委員会の活動及び国際ロータリーの情報等掲載しました。

会員選考委員会報告

委員長 山下 栄蔵
委員 古谷 英太郎
中山 恒三郎

今期は新入会員3名、期中に選考し、次年度入会予定者1名の計4名選考に際し。下記に依り選考しました。

横浜緑ロータリークラブ新入会員候補者選考基準に基づいて、

1. 選考基準の内容を説明し、理解願った。
2. 特に寛容で、社交性のある人。
3. 会長方針に基づいて青少年問題を理解願った。

尚、新入会員候補者として数名のアプローチはありましたが、新入会員として迎えられなかった事は残念です。

会員増強委員会報告

委員長 岩岡 正
委員 岩本 正三
幸内 伸雄
(山田 雅人)

今期5名以上の会員増強を望んでおりましたが、質か量かという問題、現在の経済状勢下に於ては困難な上に、新クラブ発足もあり、成果を得る事ができませんでした。

プログラム委員会報告

委員長 赤 柄 忠 昭
副委員長 中 林 靖
委 員 内 野 晃
戸 田 裕 也

会長方針である「青少年の非行予防」に主要課題をおき、下記の通りの卓話を実施致しました。

58. 8. 10	「青少年問題について」	駒沢大学教授	和 田 謙 寿 氏
58. 10. 19	「青少年の健康」	橋爪スイミングクラブ	橋 爪 四 郎 氏
58. 11. 2	「青少年問題」		コロンビアトップ 氏
58. 12. 7	「誇りと教育」	松下政経塾	平 澄 代 氏
59. 2. 1	「社会福祉について」		簡 照 子 氏
59. 2. 22	「西ドイツについて」	県 商 工 部	尾 高 輝 重 氏
59. 3. 7	「日本の個性教育について」	松下政経塾	小 田 全 宏 氏
59. 3. 28	「学校教育について」		白 田 都 雄 氏
59. 4. 4	「親と子のしつけについて」		尾 関 宗 園 氏
59. 4. 18	「青少年育成」	日本ボーイスカウト横浜95団長	吉 田 昌 美 氏
59. 5. 9	「流行歌について」	日本テレビ	小 里 光 氏

又、バスト会長によるフリートーキングは問題もありましたが、大変有意義であったと思います。

又、59. 3. 8 に緑ヶ丘中学校で行った映画会「燃えろ青春」も大変好評でありました。これは緑区民会議の方々と協力して行ったもので、今後も考えて行きたい事です。

又、二ヶ月に一回の夜間例会も大変楽しく過す事が出来たと思いますが、中でも、58. 11. 30に韓国大邱松林R Cのお客様をお迎えし、新宿の三井ビルで行った夜間例会を兼ねた歓迎会も、それぞれの方々が苦勞しましたが、とても思い出に残ることだと思ひます。

以上、会員始め各方面の方々のご協力により無事プログラム委員会の役目を終了出来ました事、厚く感謝申し上げます。

1983-84 年度 (昭和 58-59 年)

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
第 1 週	6 日 会長・幹事 就任挨拶	3 日 社会奉仕 フォーラム (藪島会員)	7 日 フリーターキング (武藤会長)	5 日 職業奉仕 フォーラム (古谷会員)	2 日 卓 話 コロンビア・ トップ (於：中山中 学講堂)	7 日 卓 話 財団法人 松下政経塾生
第 2 週	13 日 新年度計画 四大奉仕	10 日 卓 話 駒沢大学教授 文学博士 和田謙寿氏	14 日 職 業 報 告 (大島会員)	12 日 米 山 財 団 米山記念奨学 会の現況と課 題 (三沢会員)	9 日 クラブ奉仕 フォーラム (戸田会員)	14 日 バスト会長に よるフリート ーキング (森 会員)
第 3 週	20 日 クラブ奉仕 フォーラム (戸田会員)	17 日 職 業 報 告 (飯塚会員)	21 日 ガバナー 公 式 訪 問 クラブ Assy	19 日 卓 話 「青少年の健 康」 橋爪四郎氏	16 日 R・I 財団月間 財団学友会卒 業生 真鍋 真君 (富永会員)	21 日 国際奉仕 フォーラム (遠藤会員)
第 4 週	27 日 職 業 報 告 (横井会員)	24 日 バスト会長に よるフリート ーキング (加藤雅光 会 員)	28 日 青少年奉仕 フォーラム ライラ参加報告 (加藤勇夫 会 員)	26 日 バスト会長に よるフリート ーキング (名倉会員)	23 日 休	28 日 前半を顧みて 会長・幹事
第 5 週		31 日 夜 間 例 会 (於：勝平)			30 日 夜 間 例 会 韓国松林 R C 来日歓迎会 (於：東京新 宿三井ビル)	
主 な 行 事	定例理事会： 毎月第四 例会時		青少年活動月間 9 / 14 地 区 大 会 9 / 17~18	職業奉仕月間 10 / 12 米 山 財 団 10 / 5	R 財 団 月 間 11 / 16	

横浜緑 R C 年間 プログラム

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
4 日 年頭に当って 会 長	1 日 卓 話 「社会福祉に ついて」 簡 照子氏	7 日 卓 話 財団法人 松下政経塾生 小田全宏氏	4 日 卓 話 「親と子の絆 について」 京都大仙院住職 尾関宗園氏 (於:緑公会堂)	2 日 フリー フォーラム	6 日 職 業 報 告 (横須賀会員)
11 日 社会奉仕 フォーラム (萩島会員)	8 日 職業奉仕 フォーラム (古谷会員)	14 日 国際奉仕 フォーラム (富永会員)	11 日 職 場 見 学 T.B.S 緑山スタジオ (井上会員)	9 日 卓 話 「カラオケと ウォーオマン」 日本テレビ調 査部長 小里 光氏	13 日 一年を顧みて 四大奉仕
18 日 職 業 報 告 (井上会員)	15 日 世界理解月間 (城田会員) 卓 話 「韓国の話」 田沼二三子氏	21 日 プログラム委員 会フォーラム (中林会員)	18 日 卓 話 「青少年活動 について」 日本ボーイスカ ウト横浜95団長 吉田昌美氏	16 日 韓国大邱松林 R C 訪問報告 (武藤会長)	20 日 期末懇親会 (於:箱根湯 本天成園)
25 日 バスト会長に よるフリート ーキング (鵜川会員)	22 日 R 創立記念日 「西ドイツに ついて」 県商工部工業 貿易課 尾高主査	28 日 卓 話 「学校教育に ついて」 臼田都雄氏	25 日 雑 誌 月 間 (豊田会員)	23 日 職 業 報 告 (小林敬会員) 「地獄の訓練」	27 日 会務終了に あたって 会長・幹事
	29 日 夜 間 例 会 (於:ホテル リッチ)			30 日 夜 間 例 会 (於:フジビュ ーホテル)	
	I. G. F R 創立記念日 2 / 23 (世界理解月間)		雑 誌 月 間 4 / 25		地 区 協 議 会 6 / 24(日) 国 際 大 会 6 / 3(日)~7 パーミンガム

地区及び分区その他会議及び諸行事

58. 3. 21 (月) (休日)	次期会長幹事会	平塚農協ビル 14:00 ~ 18:00	2名
7. 8 (金)	旧第2分区会長・幹事・副会長会	浜銀鶴見支店 15:00 ~	3名
8. 24 (水)	インターアクト委員会 (インターアクト顧問校長会)	ガバナー事務所 15:00 ~ 17:00	1名
9. 3 (土)	米山奨学委員長会	山一証券横浜支店 4F 大会 議室 15:00 ~ 17:00	1名
9. 17 (土)	R I 会長代理歓迎晩さん会	ニュージャランド 17:30 ~ 19:00	2名
9. 17 (土) ~ 18 (日)	地区年次大会	県民ホール	41名
10. 15 ~ 16	R A 地区大会	山中湖畔「井戸前」	3名
10. 29 (土)	クラブ国際奉仕委員長会議	ガバナー事務所 4F 大会議室	1名
11. 7 (月)	クラブ会員増強セミナー	スカイビル 8F 14:00~17:00 (会長・増強委員長出席)	1名
11. 8 (火)	職業奉仕委員長会議	ガバナー事務所大会議室 14:30 ~ 17:00	1名
11. 20 (日)	インターアクト年次大会	セントジョセフ カレッジ(ホスト) 9:00~ スポンサー 横浜 R C	2名
11. 30	大邱松林 R C 会員家族歓迎例会	新宿三井ビル	
12. 3 (土)	財団学友オリエンテーション (カウンセラー出席)	スカイビル 5F 15:00 ~ 16:30	1名
59. 1. 26 (木)	第3・第4分区クラブ会長会	ガバナー事務所	1名
2. 18 (土)	第3・第4分区 I G F	横浜高島屋 (ホスト:横浜瀬谷 R C)	全 員
3. 9 (金)	クラブ雑誌委員長会議	川本工業ビル 8F 大会議室 14:00 ~ 17:00	1名
3. 25 (日)	次年度会長幹事研修会	横浜商工会議所 13:30 ~ 18:00	2名
3. 27 (火)	横浜たま R C 創立総会	東急たまプラーザ 13:00 ~	22名
3. 29 (木)	G S E 懇親会 (第3・第4分区合同)	華正楼 18:00 ~	1名
4. 19	G S E 送別会	ホテル サンルート横浜 18:00 ~ 20:00	2名
4. 22	相模原東 R C チャーターナイト		1名
5. 1 ~ 5	大邱松林 R C 訪問		14名
5. 8 (火)	米山奨学生オリエンテーション	相生 14:00 ~ 16:00	1名
6. 23 (土)	次期 I A 委員会	川崎日航ホテル	1名
6. 24 (日)	地区協議会	関東学院大学 (ホスト:横浜金沢 R C)	9名

ロータリー情報委員会報告

委員長 岡 本 健

委 員 武 藤 松 一

- ロータリーの情報を迅速、適格に周知に徹底する様努めた。
- 炉辺会談を2回開催し、ロータリアンとしての資質の向上を図ると共に、親睦を深める事が出来た。

広報委員会報告

委員長 好 井 良 雄

委 員 (加 藤 雅 光)

- (1) ロータリー活動を地域社会に反映させるために、ロータリーの友等を掲示、配布した。特に今年度は、青少年非行予防問題が大きなテーマだったため、中山中学校ならびにPTA役員に会報等を配布した。
- (2) 理事会並びに各委員会と連携を取り、各機関に必要な応じ掲示、または配布した。

S. A. A. 報 告

S・A・A 岡 本 健
副S・A・A 名 倉 健 二
中 畑 龍 二
城 田 昭 次
(渡 辺 健 一)

ビジター並びにゲストに良い印象を与える様、又能率的な会合が出来る様、次の事項を実施した。

- 1) 例会中は禁煙とした。
- 2) 食事の簡素化。
- 3) 記念品は実用的なものにした。
- 4) ニコニコに関しては自発的にお願い致しましたが、予想以上の成果があった。

社 会 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 藪 島 五 郎
副委員長 幸 内 伸 雄
委 員 (岩 沢 幸 雄) 三 橋 英 一
豊 田 洋 山 下 栄 蔵
大 島 匡 佐

① チャリティーバザー (58年11月11日, 緑区役所広場)

会員の抛出品及び内外編物等の協力による廉価化入にて行う。

＜参加会員＞……社会奉仕委員全員, 及び会員・会員の奥様方の協力

＜対 象 者＞……一般の方に販売

② 中里学園クリスマスパーティー (58年12月22日, 中里学園)

緑区にある養護施設・中里学園にクリスマスプレゼントをした。

＜参加会員＞……社会奉仕委員全員, 及び一般会員

＜対 象 者＞……中里学園の全員に, 会員抛出のプレゼント及び菓子その他を手渡した。

③ 廃 品 回 収 (59年3月17日)

各会員の事業所より廃品を回収・販売し, 社会奉仕関係資金に充当。

＜参加会員＞……社会奉仕委員

青少年委員会報告

委員長 加藤 勇 夫

副委員長 中 畑 龍 二

委 員 小 林 敬 (渡 辺 健 一)

中 山 恒三郎 好 井 良 雄

地元の中山中学校PTAを主体にして青少年活動を行った。

- ① 58. 8. 10 「青少年問題について」 駒沢大学教授 和田 謙 寿 氏
中山中PTA 深野副会長以下15名例会出席
- ② " 9. 28 「ライラに参加して」
昭和56年ライラ参加 鈴木 伴 実 氏
昭和58年ライラ参加 高 岡 敏 明 氏
昭和58年ライラ参加 中 村 武 氏
③ " 10. 19 「青少年の健康」 橋爪スイミングクラブ 橋 爪 四 郎 氏
中山中PTA 20名例会出席
- ④ " 11. 2 「青少年問題について」 コロンビア・トップ 氏
中山中学講堂に於いて PTA 250人出席
- ⑤ 59. 3. 28 「学校教育について」 長野県 白 田 都 雄 氏
- ⑥ " 4. 4 「親が変れば子も変る」 京都府 大仙院住職 尾 関 宗 園 氏
緑区公会堂に於いて中山中・中山小PTAを主体に約350名出席
- ⑦ " 4. 18 「地域の青少年活動について」 ボーイスカウト第95団 吉 田 昌 義 氏

インターアクト委員会報告

委員長 田 辺 政 雄

副委員長 森 善 助

委 員 中 林 靖 名 倉 健 二

小 林 敬 飯 塚 金次郎

鵜 川 昇

1. R・CとI・Cとの連携を深めるために、I・C例会にR・C会員の出席を努めたが、十分とはいかなかった。
2. R・C例会にI・C役員、顧問の先生の招待を計画したが、1回程度しか種々の都合で出来なかった。
3. I・Cの活動計画の実施に、出来る限りの協力に努めた。
4. 桐蔭学園I・C生徒の夏季休暇中に海外を訪問する生徒に対し、協力をした。

桐蔭学園 I・C 活動報告

1. 市ヶ尾駅、鶴見川サイクリングコース、鉄野学園周辺の清掃奉仕を実施した。
2. ベルマーク、古切手、ロータスクーボン等の収集に努力した。
3. 寮祭に中里学園児を招待した。
4. I・C年次大会に参加した。(セントジョセフカレッジ)

<役 員>

会 長 雨 倉 君

副会長 小 野 君

幹 事 古 川 君

理 事 山 内 君， 宇和川君

会 計 早稲田君

奉 仕 委 員 長 安 里 君

親 睦 委 員 長 鈴 木 君

国 際 委 員 長 荒 木 君

財 務 委 員 長 白 川 君

広 報 委 員 長 横 堀 君

プ ロ グ ラ ム 委 員 長 岩 崎 君

出 席 委 員 長 田 中 君

会 員 選 考 委 員 長 萩 原 君

<定 例 会> 12回実施 例会予定日：第1・3月曜日 3:30

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
| ① 58. 4. 18 | ② 58. 5. 2 | ③ 58. 5. 16 | ④ 58. 6. 6 |
| ⑤ 58. 6. 20 | ⑥ 58. 7. | ⑦ 58. 9. 19 | ⑧ 58. 10. 3 |
| ⑨ 58. 11. 7 | ⑩ 58. 11. 21 | ⑪ 59. 2. 6 | ⑫ 59. 2. 20 |

ローターアクト委員会報告

委員長 寺 崎 誠 三

委 員 小 林 敬 三 沢 君 夫

(武 田 峯 生) 鷗 川 昇

横 井 好 明 林 達 磨

- 1) ローターアクトクラブ例会に各委員長及会員の出席, お願ひ致し 15 分位のスピーチを行ないました。
- 2) ローターアクトクラブ奉仕活動に参加した。
(不動尻青少年キャンプ場に参加: 会長始め会員 11 名, ローターアクト会員 12 名, 中里学園生徒 29 名, 教員 5 名)
- 3) 古切手収集に積極的協力した。(854 枚)
- 4) ローターアクトクラブ 259 地区年次大会に出席する。
(武藤会長外 2 名) 場所 山中湖
- 5) ローターアクトクラブ移動例会(青葉台ボール)に出席致し, 例会後ボーリング大会を行ない, ローターアクトクラブ会員との交流をした。

職業奉仕委員会報告

委員長 古 谷 英 太 郎

委 員 名 倉 健 二

(加 藤 雅 光)

「職業奉仕」についての理解と実践をはかるため, 次の点を積極的に推進する様努めた。

1. 職業奉仕に関するフォーラムを 10 月 12 日と 2 月 8 日, 2 回実施した。
2. 12 月 8 日 ガバナー事務所に於て職業奉仕委員長会議が招集され, 次の様な問題が提案された。
 - ㊦ 日本国内に於ての激しい過当競争の問題
 - ㊧ 諸外国の日本に対する巨額な貿易赤字の問題
 - ㊨ 発展途上国の巨大な負債の問題
 - ㊩ 共存共栄は困難である, 又は不可能であるとする具体的理由以上の諸問題についての結論を求める為, 支部に於てフォーラムの形式で充分研究討議することにし, 勉強し, その結論が出たので塚本委員長宛文書で報告した。
3. 職業奉仕委員会は 4 月 11 日の例会場所を緑山 TBS スタジオに変更して戴き, 現地に於て同スタジアムの職場見学を為し, 職業奉仕についての勉強会を開いた。

国際奉仕委員会報告

委員長	遠藤真作
副委員長	富永力
委員	河原照忠
	内野晃

1. 昭和58年11月30日 韓国大邱松林クラブが当クラブを訪問

P.M. 6時より新宿三井クラブにて歓迎会を行う。

<訪問者> 大邱松林クラブ会員 5名

〃 婦人 2名

ビジター 2名

横浜東急ホテル泊り

12月1日 箱根及東京見物及ショッピング, 東京グランドホテル泊り

12月2日 成田より東南アジア旅行出発

2. 昭和59年5月1日 当クラブ韓国訪問

当クラブ会員 14名

婦人 3名

ビジター 2名

慶州市内見物

5月2日 ナザレ園慰問 園長より明細に案内を戴く

午後 慶州到着

7時より パーティー出席

5月3日 市内見物及親善ゴルフ

5月4日 ソウル市内見物

5月5日 帰国

3. C.C.W.A. (国際精神里親運動) への参加会員は次の通りです。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 遠藤真作君 | 2. 小林安雄君 | 3. 武藤松一君 |
| 4. 田辺政雄君 | 5. 城田昭次君 | 6. 藪島五郎君 |
| 7. 代々木和男君 | | |

世界社会奉仕委員会報告

委員長 城 田 昭 次
委 員 長 瀬 正 作
(渡 辺 健 一)

1. 国際ロータリー事務局の世界社会奉仕計画資料室と連絡をとり、組合せ地区及び海外クラブとの協力を推進。
2. 我がクラブの地域社会では何を早急に必要としているかを調査し、外国からどのような援助を求めるべきかを検討。
3. 世界理解月間（2月）の機会を生かし、世界の理解と親善を進める様努力。

ロータリー財団委員会報告

委員長 富 永 力
副委員長 長 瀬 正 作
委 員 林 達 磨

1. 財団月間には第259地区ロータリー財団学友会から、1982年度大学奨学生・大貫博之君をお招きして留学前後の活動状況について卓話をお願いしました。
2. 財団奨学生希望者・松村武人君を推薦、選考試験に合格しました。

留学先：カルフォルニア州立大 ロサンジェルス分校

3. 1984年6月末の当クラブの財団活動状況

○ ボールハリスフェロー正会員氏名（敬称略）

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 岩 岡 正 | 9. 富 永 力 | 17. 山 下 栄 蔵 |
| 2. 岩 本 正 三 | 10. 長 瀬 正 作 | 18. 好 井 良 雄 |
| 3. 内 野 晃 | 11. 中 山 恒三郎 | 19. 代々木 和 男 |
| 4. 鵜 川 昇 | 12. 名 倉 健 二 | |
| 5. 小 林 安 雄 | 13. 三 沢 君 夫 | |
| 6. 田 辺 政 雄 | 14. 武 藤 松 一 | |
| 7. 寺 崎 誠 三 | 15. 森 善 助 | |
| 8. 戸 田 裕 也 | 16. 矢 島 誠 治 | |

○準フェロー会員氏名（敬称略）

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 | 8. 寺 内 伸 雄 | 15. 中 村 彰 宏 |
| 2. 遠 藤 真 作 | 9. 小 林 敬 | 16. 林 達 磨 |
| 3. 大 島 匡 佐 | 10. 城 田 昭 次 | 17. 古 谷 英太郎 |
| 4. 岡 本 健 | 11. 田 沼 文 衛 | 18. 三 橋 英 一 |
| 5. 加 藤 勇 夫 | 12. 豊 田 洋 | 19. 薮 島 五 郎 |
| 6. 加 藤 貞 夫 | 13. 中 林 靖 | 20. 横 井 好 明 |
| 7. 河 原 照 忠 | 14. 中 畑 竜 二 | 21. 渡 辺 武 |

○家族フェロー会員氏名（敬称略）

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 田 辺 しげ子 | 4. 武 藤 義 一 | 7. 森 玉 江 |
| 2. 中 山 礼 子 | 5. 武 藤 泰 典 | |
| 3. 武 藤 勝 典 | 6. 武 藤 純 子 | |

○家族準フェロー会員氏名（敬称略）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 岩 岡 明 子 | 4. 長 瀬 すみ子 | 7. 武 藤 智恵子 |
| 2. 小 林 はま子 | 5. 富 永 み や | 8. 武 藤 美 智 |
| 3. 田 辺 益 美 | 6. 三 沢 良 子 | |

米 山 奨 学 委 員 会 報 告

委員長 三 沢 君 夫

委 員 加 藤 貞 夫

経済状況の底迷にも拘らず、米山財団の趣旨を深くご理解下され、財政援助に大いに貢献出来得た事を誇りとしたい。亦、ご協力願った会員の皆様には紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

又、地区大会（9月17日・18日）に於いて、当クラブは「米山功労クラブ」として表彰されました。

期末の成績は下記の通りです。

	前 期 末	移 籍	期 末
功 労 者	8 名	1 名	7 名
準 功 労 者	24 名	1 名	25 名
未 加 入 者	16 名	3 名	11 名

① 中林・渡辺(宏)両会員は準功労者へ。

② 遠藤・加藤(勇)・中畑・城田・岡本・内野・代々木各会員は期中に夫々多額の増額にご協力戴きました。

○米山功労者（□印 元会員）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 岩 岡 正 君 | 5. 武 藤 松 一 君 |
| 2. 小 林 安 雄 君 | 6. 長 瀬 正 作 君 |
| 3. 三 沢 君 夫 君 | 7. 秋 田 茂 君 |
| 4. 森 善 助 君 | 8. 田 辺 政 雄 君 |

○米山準功労者

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 君 | 9. 中 山 恒三郎 君 | 17. 鷗 川 昇 君 |
| 2. 遠 藤 真 作 君 | 10. 岡 本 健 君 | 18. 渡 辺 武 君 |
| 3. 加 藤 勇 夫 君 | 11. 城 田 昭 次 君 | 19. 藪 島 五 郎 君 |
| 4. 小 林 敬 君 | 12. 田 沼 文 衛 君 | 20. 山 下 栄 蔵 君 |
| 5. 幸 内 伸 雄 君 | 13. 寺 崎 誠 三 君 | 21. 好 井 良 雄 君 |
| 6. 名 倉 健 二 君 | 14. 戸 田 裕 也 君 | 22. 代々木 和 男 君 |
| 7. 中 畑 龍 二 君 | 15. 富 永 力 君 | |
| 8. 中 村 彰 宏 君 | 16. 内 野 晃 君 | |

会 計 報 告

(1983. 7 ～ 1984. 6)

会 計 河 原 照 忠

副会計 近 藤 裕 義 加 藤 貞 夫

〔 一般会計の部 〕

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	8,585,000	8,360,000	△ 225,000
入 会 金	300,000	200,000	△ 100,000
雑 収 入	150,000	50,761	△ 99,239
繰 越 金	265,543	265,543	0
収 入 合 計	9,300,543	8,876,304	△ 424,239

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
本 部 資 金	254,400	254,400	0
地 区 分 担 金	625,400	592,590	△ 32,810
地 区 大 会 分 担 金	265,000	250,000	△ 15,000
I G F 分 担 金	179,000	144,000	△ 35,000
地 区 協 議 会 分 担 金	75,000	73,000	△ 2,000
米 山 資 金	159,000	147,000	△ 12,000
予 備 費	30,000	28,921	△ 1,079
分 担 金 支 出 合 計	1,587,800	1,489,911	△ 97,889
例 会 費	150,000	149,118	△ 882
記 念 品	155,000	155,000	0
通 信 費	125,000	84,840	△ 40,160
消 耗 品 費	40,000	20,449	△ 19,551

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減
印	刷 費	400,000	400,000	0
事	務 委 託 費	1,250,000	1,250,000	0
備	品 費	30,000	0	△ 30,000
交	際 費	50,000	46,000	△ 4,000
雑	誌 文 献	177,200	177,200	0
慶	弔 費	50,000	15,000	△ 35,000
予	備 費	100,000	98,594	△ 1,406
特 別 会 計 へ 振 替		1,660,543	1,660,543	0
総 務 費 合 計		4,187,743	4,056,744	△ 130,999
会	員 増 強	0	0	0
会	員 選 考	0	0	0
出	席 奨 励	5,000	5,000	0
会	報	950,000	950,000	0
親	睦	1,000,000	603,832	△ 396,168
雑	誌	0	0	0
プ ロ グ ラ ム		1,350,000	1,350,000	0
広	報	30,000	0	△ 30,000
ロ ー タ リ ー 情 報		0	0	0
職	業 分 類	0	0	0
S	A A	60,000	57,239	△ 2,761
雑	費	30,000	26,666	△ 3,334
予	備 費	100,000	83,190	△ 16,810
事 業 費 計		3,525,000	3,075,927	△ 449,073
次 期 繰 越 金		0	253,722	253,722
支 出 合 計		9,300,543	8,876,304	△ 424,239
資 産 残 高	定 期 預 金	1,500,000		
	普 通 預 金	261,716		
	普 通 預 金	21,761		
	普 通 預 金	1,115,364		

〔 特別会計の部 〕（ 食事 ）

（ 収入の部 ）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	1,155,000	1,155,000	0
ビ ジ タ ー 登 録 料	45,000	71,000	△ 26,000
雑 収 入	5,000	412	4,588
繰 越 金	22,469	22,469	0
収 入 計	1,227,469	1,248,881	21,412

（ 支出の部 ）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
例 会 食 事 費	1,150,000	1,150,000	0
予 備 費	77,469	77,469	0
次 期 繰 越 金		21,412	21,412
支 出 計	1,227,469	1,248,881	21,412

〔特別会計の部〕（奉仕）

（収入の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
ス マ イ ル	600,000	1,136,407	536,407
雑 収 入	10,000	2,807	△ 7,193
世 界 社 会 奉 仕	0	0	0
交 換 学 生 補 助 金	240,000	200,000	△ 40,000
一 般 会 計 より 振 替	1,660,543	1,660,543	0
繰 越 金	9,009	9,009	0
収 入 計	2,519,552	3,008,766	489,214

（支出の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
職 業 奉 仕	40,000	0	△ 40,000
社 会 奉 仕	300,000	226,967	△ 73,033
青 少 年	50,000	0	△ 50,000
イ ン タ ー ア ク ト	200,000	30,500	△ 169,500
予 備 費			
交 換 学 生 補 助 金	300,000	300,000	△ 0
ロ ー タ ー ア ク ト	200,000	13,632	186,368
国 際 奉 仕	100,000	100,000	△ 0
世 界 社 会 奉 仕	100,000	0	△ 100,000
予 備 費	1,229,552	1,226,167	△ 3,385
次 期 繰 越 金		1,111,500	1,111,500
支 出 計	2,519,552	3,008,766	△ 489,214

横浜緑ロータリー・クラブ組織表

1983～1984年度（昭和58年～昭和59年度）

1. 理 事	武 藤 松 一	戸 田 裕 也	山 下 栄 蔵	藪 島 五 郎
	加 藤 勇 夫	古 谷 英太郎	遠 藤 真 作	
2. 役 員	会 長	武 藤 松 一	副 幹 事	寺 崎 誠 三
	幹 事	渡 辺 武	副 SAA	名 倉 健 二
	副会長	戸 田 裕 也	"	城 田 昭 次
	S A A	岡 本 健	"	中 畑 龍 二
	会 計	河 原 照 忠	"	(渡 辺 健 一)
			副 会 計	加 藤 貞 夫
			"	近 藤 裕 義
3. 委 員 会	(◎印 委員長 ○印 副委員長)			
A クラブ奉仕委員会	(担当理事) ◎ 戸 田 裕 也 赤 柄 忠 昭 遠 藤 真 作			
1. 出 席 委 員 会	◎ 代々木和男 岩本正三			
2. 職 業 分 類 委 員 会	◎ 矢 島 誠 治 (○ 山 田 雅 人 (2)) (阿久根 幹 成 (3))			
3. 親 睦 活 動 委 員 会	◎ 田 沼 文 衛 ○ 加 藤 勇 夫 栗 島 優 岩 岡 正			
	(加 藤 直 幸) 小 林 安 雄 三 橋 英 一 武 田 峯 生			
	横 井 好 明 森 善 助 長 瀬 正 作 中 林 靖			
	藪 島 五 郎 近 藤 裕 義 (井 上 章 和) 横 須 賀 和 吉			
	渡 辺 宏 未			
4. 雑 誌 委 員 会	◎ 豊 田 洋 栗 島 優			
5. 会 報 委 員 会	◎ 中 村 彰 宏 ○ 森 善 助 大 島 匡 佐 中 畑 龍 二			
	豊 田 洋 飯 塚 金 次 郎			
6. 会 員 選 考 委 員 会	◎ 山 下 栄 蔵 古 谷 英 太 郎 中 山 恒 三 郎			
7. 会 員 増 強 委 員 会	◎ 岩 岡 正 岩 本 正 三 幸 内 伸 雄 (山 田 雅 人)			
8. プ ロ グ ラ ム 委 員 会	◎ (赤 柄 忠 昭) ○ 中 林 靖 内 野 晃 戸 田 裕 也			
9. ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	◎ (岩 沢 幸 男) 岡 本 健 (2) 武 藤 松 一 (3)			
10. 広 報 委 員 会	◎ 好 井 良 雄 (加 藤 雅 光)			
B 社 会 奉 仕 委 員 会	(担当理事) ◎ 藪 島 五 郎 ○ 幸 内 伸 雄 (岩 沢 幸 男)			
	三 橋 英 一 豊 田 洋 山 下 栄 蔵			
	大 島 匡 佐			
1. 青 少 年 担 当 理 事	◎ 加 藤 勇 夫 ○ 中 畑 龍 二 小 林 敬 中 山 恒 三 郎			
	(渡 辺 健 一) 好 井 良 雄			
2. イ ン タ ー ア ク ト 委 員 会	◎ 田 辺 政 雄 ○ 森 善 助 中 林 靖 名 倉 健 二			
	小 林 敬 飯 塚 金 次 郎 鷺 川 昇			
3. ロ ー タ ー ア ク ト 委 員 会	◎ 寺 崎 誠 三 小 林 敬 三 沢 君 夫 (武 田 峯 生)			
	鷺 川 昇 横 井 好 明 林 達 磨			
C 職 業 奉 仕 委 員 会	(担当理事) ◎ 古 谷 英 太 郎 (加 藤 雅 光) 名 倉 健 二			
D 国 際 奉 仕 委 員 会	(担当理事) ◎ 遠 藤 真 作 ○ 富 永 力 河 原 照 忠			
	内 野 晃			
1. 世 界 社 会 奉 仕 委 員 会	◎ 城 田 昭 次 長 瀬 正 作 (渡 辺 健 一)			
2. ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	◎ 富 永 力 ○ 長 瀬 正 作 林 達 磨			
3. 米 山 奨 学 委 員 会	◎ 三 沢 君 夫 加 藤 貞 夫			

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	アクリル名札板	1
国 旗	1	卓上名札	23
ク ラ ブ 旗	1	テーブル・クロス	21
認 証 状	1	コーヒー・セット	40
スマイル・ボックス	1	マホー・ピン	10
グッド・ウィル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
レクチャー・アンプ	1	茶 棚	1
テープ・レコーダー	1	シュガー・ポット	6
レコード・プレーヤー	1	ナブキン立て	6
レコード(ロータリー・ソング)		調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗(さお共)	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印(角)	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛(各クラブのバナー共)	2	書 類 棚(W90×H180)	2
バナー立て	13	冷 蔵 庫	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	1
写 真 機	1	漆谷RCから点鐘台(大邸松林RC)	1
黒 板	1	〃 記念楯	1

正 会 員 (ACTIVE) 充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

昭和59年6月30日現在

関連	職 業		分 類	分 類	会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	職	業					
医 衛	内科	医	Physician	(山 田 雅 人	山田医院	院 長	9/14 退会
	外科	医	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長	
	小児科	医	Pediatricist	(阿久根 幹 成	阿久根医院	院 長	3/26 退会
	産婦人科	医	Obstetrician & Gynecologist				
	歯科	医	Dentist				
施設及び病院	口腔外科	医	Oral Cavity Surgeon	林 達 磨	林歯科医院	院 長	
	病院	院	Hospital	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	院 長	
教 育	高等学校	校	Senior High School				
	幼稚園	園	Kindergarten	(岩 沢 幸 男	みほ幼稚園	園 長	3/26 退会
	私塾	塾	Private School	矢 島 誠 治	中山学園	経 営 者	
ビジネスサービス	弁護士	士	Lawyer	(武 田 峯 生	武田法律事務所	所 長	3/26 退会
	税理士	士	Tax Service	渡 辺 武	渡辺武理士事務所	所 長	
	経営相談	談	Business Counseling Service	加 藤 貞 夫	加藤税務会計事務所	所 長	
	仏教	教	Buddhist				
宗 教	神道	道	Shintoism				
	送風器	器	Blower				
	建設機械	械	Construction Machinery	山 下 栄 蔵	山下工業㈱	取締役社長	
機械及び装置	履帯	帯	Caterpillar				
	板金工作	作	Sheet Metal Working				
	金型製造	造	Molds Mig				
金属加工業	自動車販売	売	Automobile Dealers	豊 田 洋	北京浜三菱自動車販売(株)	社 長	
	自動車修理	理	Automobile Repairing	小 林 敬	(株)ブラザーモーター	代表取締役	

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
電気及び電子工業	電気工事			
	電気器具製造	藪 島 五 郎	関東電気㈱	代表取締役
技 術	測 量			
	物理療法	加 藤 勇 夫	加藤接骨院	院 長
プラスチック工業	ビニール高周波加工			
	金型製造	(渡 辺 健 一	(㈲ケンシン精機製作所	代表取締役)
印刷及び出版	書籍販売			
	Book Dist			
鉱 油 工 業	石油製品	岩 岡 正	岩岡商事㈱	代表取締役
	ガソリン販売	城 田 昭 次	㈱城田石油	代表取締役
船舶及び航海用具	船舶修理	田 辺 政 雄	大丸工業㈱	代表取締役
	銃 器	(岡 本 健	㈱ミロク精機製作所	代表取締役
通 信 事 業	電話事業	大 島 匡 佐	中山電報電話局	取締役社長
	情報通信	横 井 好 明	横井通信工業㈱	局 長
	建築請負業	渡 辺 宏 未	㈱渡辺工務店	代表取締役
	建築設計	寺 崎 誠 三	(㈲寺崎工務店	取締役社長
建 設 業	建築			
	Building Construction			
	土木工事	三 橋 英 一	三橋建設㈱	取締役社長
	舗装工事	飯 塚 金次郎	宇路建設㈱	代表取締役
	建築材料	代々木 和 男	㈱代々木商店	取締役社長
	Asphalt Products	中 林 靖	日本舗材㈱	取締役社長
建築材料資材	生コン配布	幸 内 伸 雄	日建輸送㈱	代表取締役
	設備工事	速 藤 真 作	㈱速藤製作所	社 長
家具及び家内装飾	家庭用家具			
	室内装飾用品			

12/30 退会

3/4 シニア

6/13 入会

職 業 分 類		分 類	会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	業 種				
不 動 産	不 動 産 業	Real Estate Agency			
	ビ ル 賃 貸	Building Renting			
	貸 ス タ デ ィ オ	Renting Studio	(井 上 章 和)	(株)緑山スタジオシティー	取 締 役
運 輸	貨物自動車輸送	Trucking Agency			
	旅 行 幹 旋	Tourist Agency	赤 柄 忠 昭	サン東総業(株)	専務取締役
	綿 製 品	Cotton Goods	河 原 照 忠	(株)トーカー横浜支店	支 店 長
衣 料	リネンサリービス	Linen Supply			
	農 業	Agriculture			
	飼 料	Feeds			
蓄 産 業	獣 医	Veterinarian	中 畑 龍 二	中畑動物病院	院 長
	酒 精 飲 料	Alcoholic Beverage			
	食 品 輸 入	Food Importing & Exporting			
金 融	都 市 銀 行	City Banking	近 藤 裕 義	三井銀行 青葉台支店	支 店 長
	地 方 銀 行	Local Banking	(加 藤 直 和 幸) (横 須 賀 和 幸)	横浜銀行 中山支店	支 店 長
	外 国 為 替 銀 行	Foreign Exchange Banking	栗 嶋 優	東海銀行 中山支店	支 店 長
	信 用 金 庫	Credit Banking			
	広 告 業	Advertisement			
印 刷 及 び 広 告	写 真	Photograph			
	理 容	Barber			
	美 容 院	Beauty Shop	中 村 彰 宏	(株)中村アールモニー	代 表 者

11/30退会
2/15入会

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元		職 業 分 類		会 員 名		勤 務 先	役 職 名
	清 酒 飲 料	Alcoholic Beverage		中 山 恒 三 郎		㈱中山恒三郎商店	取締役社長
	ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing		富 永 力		富永高周波工業㈱	代表取締役
	消化器病科医	Gastro Enterologist		(加 藤 雅 光		ヨコハマ・クリニック	院 長
	板 金 工 作	Sheet Metal Working		小 林 安 雄		㈱小富士産業	取締役社長
	歯 科 医	Dentist		岩 本 正 三		岩本歯科医院	院 長
	高 等 学 校	Senior High School		鵜 川 昇		桐蔭学 園	校 長
	送 風 器	Blower		武 藤 松 一		㈱武藤電機	相 談 役
	履 帯	Caterpillar		名 倉 健 二		㈱東京リンク製作所	取締役社長
	タ ク シ ー 業	Taxicab Service		長 瀬 正 作		網島交通㈱	取 締 役
	室内装飾用品	Upholstering		古 谷 英 太 郎		㈱ペイント・アート	代表取締役
	農 業	Agriculture		森 善 助			
	食品材料配布	Foods Material Distributing		田 沼 文 衛		グリーン食品㈱	相 談 役
	ボーリング場	Bowling		三 沢 君 夫		三沢合資会社	代 表 者
	鉄 鋼 建 築 業	Iron Building Industry		好 井 良 雄		㈱好井鉄工所	代表取締役

3/26 退会

